



「今日の一步が光を招く 確かな一步が未来に続く」

学校だより

平成31年4月8日
東京都立羽村特別支援学校
校長 田口 克己

平成31年度がスタートしました

◇ 校長室より ◇

本校は、児童・生徒の将来の自立と社会参加を目指して『キャリア教育を推進し、生きる力を育てる学校』を目指しております。昭和49年の開校以来、関係機関の方々と手を携え合いながら、地域の特別支援教育の推進を担ってまいりました。

本校に学ぶ児童・生徒が、学校教育を通じて自他ともに尊重する心を育て、卒業後は自分らしく生き、そして社会の役割の一端を担っていけるように、一人一人の特性に応じた指導の充実に努めております。

平成31年度は、79学級(前年度77学級)となり、児童・生徒数434名、教員数152名、経営企画室職員9名、管理職3名でスタートします。

前年度は、歴代校長の意思を引き継ぎ、学校経営計画の具現化キーワードを「深化と心地よさ」とし、教職員一人一人が、学校経営計画を基に、一層深みを増し実力を発揮して、児童・生徒の成長を支援してきました。今年度の具現化キーワードは、「こちよさ」「たしかさ」「わかりやすさ」です。

「こちよさ」：<人権尊重教育推進校1年目> 自尊感情を育み、自己肯定感を高めることを意識して、

「たしかさ」：的確な実態把握と根拠に基づく指導、指導力向上、系統性の改善を図り、

「わかりやすさ」：見える化、わかる授業、保護者・関係機関・地域等への情報発信を工夫します。

わかった！できた！の体感と褒められる・評価される経験をたくさん積める学校づくりに尽力します。

<この文章は、本校ホームページに4月1日に掲載しました。【訂正：児童・生徒数435名 → 434名(4/1現在)】>



◇ 副校長がかわりました ◇

都立練馬特別支援学校から異動してまいりました、細田 英樹(ほそだ ひでき)です。中村副校長の後任としてまいりました。高等部を担当します。

前任校は高等部のみの学校だったので、小学部から高等部まで設置されている本校の大きさにびっくりしています。また自然が近く、空が広い、のびのびとした環境もとても素敵で、児童・生徒の皆さんと一緒に学校生活を過ごせることを楽しみにしています。

どうぞよろしくお願いいたします。



敷地内のつくしが力強く伸びています。



◇スクールバス◇ 昨年度、1コース増えて10台でした。31年度は、さらに1コース増えて11台になりました。今まで以上に、安全・安心な運行に努めてまいります。

◇ 当たり前のようで、難しいこと ◇ 3月18日(月)に高等部、3月22日(金)に小・中学部の卒業式が無事に終了しました。卒業生たちは、全学部(高65名、小20名、中26名)ともに卒業式当日に登校し、式典内ではない生徒も数名はいたものの、校長より卒業証書を授与されました。近年、いじめ・体罰・不登校問題などの話題がニュースで流れますが、本校の場合は、児童・生徒及び保護者と教職員の『関係性の質』がとても良好の証拠ではないかと嬉しく思いました。

◎ 気持ちのこもった入学式を ◎

平成31年度入学の小学部(17名)・中学部(28名)・高等部(61名)の新入生及び保護者の皆さま、改めまして、ご入学おめでとうございます。小・中学部は4月9日(火)、高等部は10日(水)に入学式を実施いたします。出会いを大切に、心地よい緊張感の中で、粛々と式を進める所存です。4月8日(月)の始業式において、児童・生徒にはこのような話をしました。「みなさんが体験した入学式ことを思い出しましょう。そして、新しい仲間を歓迎する気持ちを歌に込めましょう。」新入生はどのように感じてくれるのでしょうか。楽しみです。成功体験の機会としてチャンスを活かしたいです。